

2012年度同志社大学大学院入学試験問題解説
小論文

第一問 (配点 100 点)

以下にコンプライアンス(法令遵守)に関する論説を掲げる。

- (1) 論説文中の[A]と[B]に入る適切な言葉は何か、文脈から推測して、それぞれ5字以内で答えなさい。
- (2) この論説を読んで、コンプライアンス徹底の風潮が経済・社会に与える利点と弊害に関し、以下の点に配慮しつつ、1000字程度で自由に自論を展開しなさい。
- この論説は、自論を展開するための材料を提供するものにすぎない。
 - 本問は個々の法令の細かな知識や解釈論を問うものではない。
 - 弊害の内容を説明し、その原因・対策を論じること。
 - 抽象論に終始しないよう、適度に例を用いること。例は、この論説に使われているものから取ってもよいし、自分で考えてもよい。

論説文 池田信夫「前原辞任で極まった日本社会の病『過剰コンプライアンス』」(JBpress 2011年3月9日) [引用略]

(1) 20点

A 萎縮 (「委縮」も同点)(「自粛」にも若干の配点)

B 事なかれ

(2) 80点

コンプライアンスは、適正な範囲の規制と適正な程度の遵守ならば利点があることを簡単に論じる。具体例を示せばよりよい。次に、コンプライアンス徹底の風潮がもたらすおそれのある弊害の例を挙げる。その際、「過剰コンプライアンス」という言葉を曖昧に使うのではなく、過剰規制または過剰反応に分けて検討できていればよりよい。そして、弊害の原因(お上意識の強い国民性、分かりやすい構図を作って視聴者受けをねらうマスコミの報道姿勢、責任逃れのための過剰規制など)とそれらに対応する対策を自分なりに提示する。

第二問 (配点 100 点)

問(1)

[すべての人々に自重と犠牲が強いられている時、個人的権力と金を追求するひと握りの鉄鋼会社の幹部たちがその公的責任を省みず] (61文字)

* 下記のような趣旨が窺えれば問題はありません。

(国民には犠牲を強いておきながら、一方で経営者が私利私欲を追求し、)

(国民には犠牲を強いておきながら、一方で経営者が企業の社会的な責任を無視し、)

問（２）

アメリカは、財政赤字を抱え、財政的にも危機的な状況にある。鉄鋼価格の上昇などがすべてのアメリカ人に悪影響や対外的競争力の低下などをもたらすことから、そのような国家の緊急事態や独占状態のもとではそのような自由も制約されるべきである。(161文字)
*上記のような趣旨が窺える文章であれば十分です。

問（３）

経済問題に対するケネディの政治家としての毅然とした態度と素早い行動には驚くべきものがある。労組が勝手に賃上げを要求し、経営者がそれをのんで鉄鋼価格を上げるといった悪循環を断ち切ることができなければ、アメリカ経済はインフレに見舞われたであろう。一部の国民や企業から嫌われようとも国家の未来を見据えて、国家の進路を正常なコースに戻す努力を怠らず、その舵取り役となるのが、政治家の仕事であろう。ケネディのような慧眼と勇気をもった政治家が今日求められている。

ケネディは、国家の未来を見据えて、そのためにアメリカの国際競争力を落としてはならないと考えて、これまでタブーであると考えられていた基幹産業の鉄鋼業界の幹部に鉄鋼価格の上昇がさらなる国家の危機的上昇を招くとの信念のもとに、彼らに社会に対する責任や犠牲の精神の重要性を説いている。

また、このようなリーダーシップは政治のみではなく、広く社会のリーダーにも求められている。労働組合の幹部、経営者をはじめとする社会のリーダーがそのような責任を放棄した自由を求めることは国家の混乱と破局につながることをわれわれは自覚しておくべきであろう。

ケネディの示した強力な、真のリーダーシップは今の日本の社会的リーダーに強く求められているものであるといってもよかろう。特にわが国の政治家に求められるリーダーシップは政治家の質や志の問題に深くかかわるともいえよう。(680文字)

*上記の文章はあくまでも解答例ですので、同様の趣旨が窺える文章であれば十分です。